

職場体験学習

教科・領域 総合的な学習の時間

阿武町立阿武中学校第2学年

キャリア教育の観点

職場体験学習を通して、以下のねらいの達成をめざします。

- ① 自己の生き方を見つめ、自己にふさわしい進路を実現しようとする意欲や態度を育てる。
- ② 職場で働く人々に接することで、勤労の意義や尊さ、厳しさを学ぶ。
- ③ 職場の人々とのふれあいを通して社会性を培うとともに、人との望ましいかかわり方や公衆道徳を身に付ける。

【人間関係形成・社会形成能力】【自己理解・自己管理能力】【キャリアプランニング能力】

事前学習

実際の職場体験学習への準備として、以下の流れで学習を進めた。

・身近な人にインタビューをしてみよう

家族（両親など）から仕事の大変さややりがい等を聞くことを通して、勤労の大切さや厳しさを知ることができた。

・働く人に学ぼう

小売業界で働く人のビデオ視聴を通して、職業の多様さや勤労の尊さ等について知ることができた。

・職場体験学習に向けてのアンケート

生徒が体験してみたい職業についてアンケートを実施した。実施に当たっては、「なぜその職種を希望するのか」「そこでどのようなことをしたいのか」「何を知りたいのか」の3点を重視した。

・わたしのプロフィール

アンケートをもとに、決定した体験先に提出するプロフィールを作成させた。職場の希望理由等だけでなく生徒自身の長所等自分を分析することにも重点を置いた。

・職場の方々とふれあう機会をもとう

職場体験学習に先立ち、体験先との打合せのための電話連絡、体験後の礼状書きを学習した。この学習は総合的な学習の時間だけではなく、国語科と連携して実施した。

・職場体験学習当日に向けての準備

「職場体験学習のしおり」を用いて事前学習を行った。心構え、行動マニュアル、体験開始・終了時刻の確認、体験学習を終えてのまとめ等、実務的な内容について確認させた。

職場体験学習当日

生徒は例年と同様に、阿武町内及び近隣の萩市内の事業所において、右図の要領で体験学習を行った。

生徒の具体的な体験先は、保育園（3人）、美容室（2人）、官公庁関係（消防署、図書館）（2人）、小売業（製菓販売、スポーツ店、衣料店、書店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター）（8人）、老人福祉施設（1人）、製造業（1人）、リサイクル施設（1人）である。

また、従来は1事業所につき1～3人で体験学習を行っていたが、本年度は生徒の自立心や主体性を育てることを目的とし、1事業所で体験学習を行う生徒を1人とした。その結果、生徒は体験活動中に私語をすることなく、また、他者に頼ることなく、与えられた課題に集中して取り組むことができた。

まとめと発表

職場体験学習終了後、生徒は体験活動のまとめとしてポスターを作成した。ポスター作成に当たっては、生徒自身の体験期間中の活動記録・反省と、体験先の事業所からの活動評価を参考資料とした。まとめの発表については、11月に開催される校内文化祭においてポスターを掲示するほか、プレゼンテーションソフトを活用してのステージ発表を予定している。2学年の学習の様子を発表することで、来年度職場体験学習の実施を予定している1学年の意識付けとしたい。

考察と課題

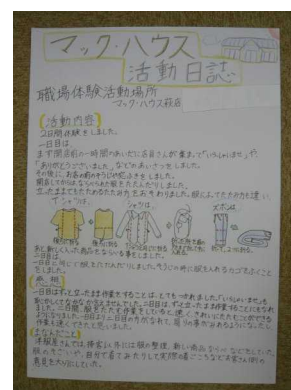
今回の職場体験学習を通して、目的の1つである、働くことの意義や尊さ、厳しさを学ぶことができた。これは、事業所からの評価項目「体験学習に意欲的に取り組んでいたか」において、どの生徒も高い評価を得ていたことから分かる。また、「出勤時間や服装など、ルールを守って取り組んだか」という項目においても同様に、生徒は誠実に活動できていたと考える。

職場体験学習 当日の流れ

8月7日（水）、8日（木）

- 8：45 事業所へ移動
- 9：00 午前の体験活動開始
一昼食・休憩一
- 13：00 午後の体験活動開始
- 15：00 活動終了
- 帰宅後 学校へ電話連絡
その日の体験内容・感想等をレポートにまとめる

※ 体験活動開始及び終了時刻は各事業所によって若干異なる。



しかし、「挨拶や言葉遣いなど、礼儀作法はどうであったか」という項目においては、多くの生徒が不十分という評価であった。特に、日ごろ慣れていない環境での大きな声での挨拶や返事が十分にできていないという指摘が多かった。このことから、目的の1つである職場の人々とのふれあいを通して社会性を培うことに課題を残した。

今後は、何事にも意欲的に取り組む姿勢を伸ばしていくとともに、今回課題となった基本的な挨拶・返事を恥ずかしがらずに行うことができるよう、生徒を支援していきたい。

全体計画との関連

平成25年度 キャリア教育・進路指導 全体計画 阿武町立阿武中学校

